

九州運輸局メールマガジン

平成22年6月17日 第86号(発行日:毎週木曜日)

~九州の明日を拓く運輸と観光~

九州運輸局HPアドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。

目次

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報(6月10日~6月16日掲載分)
 - 各種情報
 - 各種手続き
 - 分野別情報
 - 報道発表
 - お知らせ
 - おすすめ情報
- 2 現場レポート
- 3 リレーコラム【長崎運輸支局厳原自動車検査登録事務所長 中田 知明】
- 4 国土交通省からのお知らせ情報

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報(6月10日~6月16日掲載分)

各種情報

《入札・契約情報》

- ・企画競争実施公示(6/15付け)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

- ・物品・役務入札公示(6/11付け)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

《行政処分状況》

- ・一般乗合旅客自動車運送事業者の行政処分状況(平成22年5月分)

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/noriai/noriai22.htm>

・一般貸切旅客自動車運送事業者の行政処分状況（平成22年5月分）

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/kasikiri/kasikiri22.htm>

・一般乗用旅客自動車運送事業者の行政処分状況（平成22年5月分）

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/jyouyou/jyouyou22.htm>

・一般貨物自動車運送事業者の行政処分状況（過積載を除く）（平成22年5月分）

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kamotu22.htm>

・一般貨物自動車運送事業者の行政処分状況（過積載に限る）（平成22年5月分）

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kasekisai22.htm>

各種手続き

・海技試験制度・合格発表（6/10付け）

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

分野別情報

《公共交通活性化》

・第1回 九州における今後の交通のあり方に関する検討会（概要）

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file12/1gijigaiyo.pdf>

《バス・タクシー・トラック》

・バスの申請公示状況（平成22年6月分）

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/bus/k_220611.pdf

・バスの申請・処分状況（平成22年5月分）

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/bus/s_2205.pdf

・タクシーの申請公示状況（平成22年6月分）

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/truck/K_220611.pdf

・タクシーの申請・処分状況（平成22年5月分）

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/s_2206.pdf

・トラックの申請・処分状況（平成22年5月分）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/truck/s_2205.pdf

報道発表

・「平成22年度地域公共交通活性化・再生優良団体大臣表彰」について

～熊本県菊池市が、九州管内で始めて表彰されます！！～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0611-1442-43.pdf>

・「宮崎県口蹄疫対応 九州地方整備局・九州運輸局合同支援本部」の設置について

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0614-1552-43.pdf>

・平成21年度日韓旅客定期航路の旅客輸送実績について

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0616-1.pdf>

・平成21年度 長距離フェリー・主要離島航路 輸送実績について

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0616-2.pdf>

・報道関係者の方々を対象とした軍艦島上陸見学会を7月1日（木）に開催します

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0616-3.pdf>

・「九州クルーズシンポジウム」を6月30日（水）に開催します！

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0616-4.pdf>

・6月22日（火）・23日（水）台湾の高雄市及び台北市において「九州観光説明会・商談会」を開催します！

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0616-5.pdf>

お知らせ

・平成22年度 整備管理者選任前研修の開催日程について（前期分）』リンク先 PDF を内容を追加したものに差し替え

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2010-0526-1032-43.pdf>

おすすめ情報

《交通環境・物流・バリアフリー関係》

・九州グリーン物流パートナーシップ推進協議会（活動情報：平成22年度表彰候補事業募集終了のお知らせ）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyu_green/

・九州グリーン物流パートナーシップ推進協議会（概要：委員変更による名簿の一部修正）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyu_green/

《その他》

・「九州地方整備局メールマガジン」登録案内の開設

http://192.168.36.10/home/s_top/mailmagazine/

2 現場レポート

物流戦略懇談会 シンポジウム

「九州の成長戦略と北部九州の総合ロジスティクス」

6月9日アクロス福岡で、(財)国際東アジア研究センターと(社)日本港湾協会の主催（後援：九州運輸局ほか）による「九州の成長戦略と北部九州の総合ロジスティクス」と題したシンポジウムが開催されました。

本シンポジウムは、激変しつつあるアジアを中心とする社会経済状況を踏まえ、主催者が地域貢献のための自主研究として設置した有識者による「物流戦略懇談会」が議論を重ねた「北部九州地域の経済活性化に向けた総合ロジスティクスに関する政策提言」の中間取りまとめを公表し、広く関係者と意見交換するために開催されたものです。

パネルディスカッションに先立ち、「九州経済の成長戦略」と題し、九州経済同友会代表委員の石原進氏、「韓国から見た日本の物流の課題」と題し、韓国釜山国立大の林正徳教授が基調講演を行った後、物流戦略懇談会委員長の井原健雄氏より「北部九州の総合ロジスティクスに対する提言」の中間とりまとめが報告されました。

この中間報告では、地の利を生かし顧客のニーズを先取りしたシームレスアジア物流の実現による「国際ロジスティクス産業クラスターの形成」を基本戦略とし、顧客志向の港湾経営へのパラダイムシフト、産官学の連携による共同戦略体制の構築、「物流バリアの聖域なき見直し」と制度改革が必要であり、産官学の連携による地域共同戦略を北部九州山口地域から構想し実践することが重要であると呼びかけられました。

パネルディスカッションでは、(財)国際東アジア研究センター所長の谷村秀彦氏がコーディネーターとなり、それぞれアジアとの国際物流に造詣が深い国際港湾協会名誉事務総長の井上聡史氏、林正徳教授、三井物産(株)物流本部九州物流室長の大塚浩之氏、TOTO(株)物流本部本部長の加藤正行氏の4人のパネリストにより、アジアの経済成長を取り込むための物流バリアや港湾経営にあたっての討議が行われ、「積極的な行動によって地理的条件を生かさなければならないこと。物流は一つの手段であって産業政策とセットで考える必要があること。プロジェクトの実行による課題解決」など、多くの意見やヒントが出されました。

会場には、物流関係者、有識者、行政など物流に携わる多様な関係者約300人が参加し、会場から英語で質問を受けるなど国際色豊かなシンポジウムとなりました。

(交通環境部 物流課)

運輸安全マネジメント新ガイドライン説明会

平成22年6月7日(月)福岡合同庁舎新館7階海技試験場において、国土交通本省の古橋運輸安全調査官による「運輸安全マネジメント制度の運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドラインの説明会」を鉄道、自動車、海事、航空モードの運輸事業者約150名の参加のもと開催いたしました。

この説明会は、運輸安全マネジメントに関する運輸審議会の答申を踏まえて3月2日に「基本方針」とともに「新ガイドライン」が策定・公表されたことを踏まえ、新ガイドラインの内容に関して、国土交通省大臣官房運輸安全監理官室が各地方運輸局等において順次開催しているものですが、ガイドライン改正後、九州地区でははじめての開催ということもあって、募集〆切予定日の数日を前にして予定定員を上回る応募者があり、運輸安全マネジメント制度についての関心の高さが窺えました。

この運輸安全マネジメント制度は、平成17年4月のJR西日本福知山線の列車脱線事故をはじめとしてヒューマンエラーが原因と見られる事故等が多発したことをきっかけとして、国土交通省内で検討が進められ、平成18年3月31日に運輸安全法一括法が公布され、平成18年10月1日から開始されているものであり、平成21年3月末現在の評価対象事業者は5,156社です。

説明会では、運輸安全マネジメント制度導入後3年強経過する中、平成18年10月から平成21年12月末までに全国で2,038社(内訳:鉄道45

3社、自動車386社、海運1,137社、航空62社)に対し評価を実施していますが、そのうち国土交通省運輸安全監理官室による運輸安全マネジメントの対象となっている約120の大手事業者においては、モード間や事業者規模等によって差があるものの、安全管理のための仕組みを概ね構築し、運用、改善がなされており、運輸安全マネジメント制度導入による一定の効果が現れてきているとの認識が示されました。

しかしながら、その一方で、大手事業者と中小事業者の間には、安全管理の取組みに大きなギャップが存在していること。また、未だ1回目の評価を実施していない対象事業者も多く、大手以外の事業者に如何に制度の浸透・定着を図っていくかが課題となっているとの報告がありました。

今般のガイドラインは、こうした状況を踏まえ、事業者にとってより判りやすい指針として改正されたものでありますが、参加者は、長時間に亘る講義にもかかわらず、講師の解説に熱心に聞き入っていました。

以下、今般のガイドラインの改正のポイントについて、簡単にご紹介します。

まず、1点目は、ガイドラインの位置づけが変更された点です。現行のガイドラインの位置づけは、事業者が作成する安全管理規程に記載する項目とその考え方を示すものとして位置づけられていましたが、今般の改正により事業者における安全管理体制の構築・改善に係る取組みのねらいとその進め方の参考例を示すものとして位置づけられ、その名称が「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン」と変更されました。

続いて2点目は、取組途上の事業者が多く見られる「安全重点施策」、「事故ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用」、「内部監査」などのやり方等を詳細に規定し、かつ、具体的な安全管理の取組事例を列挙記載する「安全管理の取組事例集」が参考資料として添付されました。

3点目は、事業者誰しもが理解できるよう、極力マネジメント的な用語、例えば「コミットメント」、「~を確実にする」等を排除し、主語(取組を行う主体)も明記しながら判りやすい用語・表現に修正されています。

その他、改正ガイドラインにおいては、記載項目や構成、海運事業者及び鋼索鉄道・索道事業者等の小規模事業者向けガイドラインが添付されていますが新ガイドラインの内容等、詳細については、以下のURLをご参照ください。

<http://www.mlit.go.jp/common/000108803.pdf>

(総務部安全防災・危機管理調整官)

3 リレーコラム

対馬は、離島としては佐渡島、奄美大島に次いで3番目に大きな島であり、長崎県全体の17.3%を占めています。人口は約3.6万人で、昭和30年代半ばの約7万人をピークに毎年減少しています。国境の島と言われますが、お隣の韓国まで49.5kmの近さで、晴れた日には釜山を見ることができます。

その近さもあり、2008年には7.2万人の韓国人観光客が訪れていますが、2009年は円高ウォン安の影響もあり4.5万人と激減しています。対馬の中心部である厳原の街中にはハングル文字が溢れており、九州本土とは一味違った雰囲気醸し出しています。

島の中に取り立てて有名な観光施設がある訳ではないのですが、雄大で風光明媚な場所が多く存在し、観光に加えて釣りや登山を楽しむことができます。

今回は、登山の中で特に人気が高い「白嶽」をご紹介します。対馬の霊山と崇められている白嶽の標高はなんと519m・・・低いじゃないかと思われるかもしれませんが、たしかに私も最初はそう思いましたが、実際登ってみると山は標高だけでは語れないということがわかりました。

白嶽は下島の美津島町にあります。麓の登山口の駐車場に車を止め、しばらくは溪流沿いに野鳥のさえずりを聞きながら原生林の中を進みます。しばらく歩くと白嶽神社の鳥居があります。この鳥居をくぐると傾斜がきつくなり、日頃運動不足の身体には堪えます。山頂に近づくとロープが張ってあり、このロープにつかまりながら岩だらけの道らしき所を登ります。

最後の難所が頂上手前、坂というよりはロッククライミング状態の岩の急斜面。ロープがないと私にはとても登れません。そうして苦労して登った岩の頂上は360度のパノラマで、素晴らしい景色を堪能できます。私自身、登山はあまり経験がありませんが、この爽快感は本当に心地良いものです。ただ、この山頂、

6～8畳ほどの広さしかなく柵もありません。風が強い時が多く、周りは断崖絶壁なので高い所が苦手な方には立って眺めるのは厳しいかもしれません。

下山を始めてふと思いました。ずっと張ってあるロープ、登る時もお世話になりましたが、降りる時の方が役目がずっと大きいんじゃないかと。膝はガクガクで登る時よりさらに大変で・・・あとはご想像にお任せします。登山とスリルを味わいたい方にはお勧めです。

(長崎運輸支局厳原自動車検査登録事務所長 中田 知明)

4 国土交通省からのお知らせ情報

「国土と交通に関する図画コンクール」作品募集

国土交通省では、次代を担う小学生の皆さんを対象に「国土と交通に関する図画コンクール」を実施します。

鉄道や飛行機などの乗り物、道路、橋、駅、港などのある風景、住んでいるまちの様子、子どもたちの目線にある日常の風景や、未来の都市など、国土交通省の仕事に関係するものをテーマにご応募ください。

詳しくは国土交通省ホームページをご覧ください。たくさんのご応募をお待ちしています！

「国土と交通に関する図画コンクール」作品募集要領

<http://www.mlit.go.jp/report/h22zugacon.html>

(キッズコーナ：<http://www.mlit.go.jp/kids/>)

【編集部より】

編集部では、新着の報道発表資料やその他の情報を発信します。

皆様のお知りになりたい情報やご意見・ご要望等ございましたら、お気軽に編集部までご連絡ください。

九州運輸局メールマガジン編集長(九州運輸局総務部広報対策官)

藤原 寿男(ふじわら としお)

mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

九州運輸局メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html